

入 札 説 明 書

この入札説明書は、政府調達に関する協定（平成7年条約第23号）、地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）、長野県財務規則（昭和42年規則第2号）、本件調達に係る入札公告（一般競争入札の公告、指名競争入札通知。以下「入札公告等」という。）のほか、本県が発注する調達契約（物品の製造の請負、物品の買入、その他の契約（建設工事の請負並びに建設工事に係る測量、調査、設計及び工事管理の委託を除く。）に関し、一般競争入札又は指名競争入札に参加しようとする者（以下「競争入札参加者」という。）が熟知し、かつ遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 競争入札に付する事項

別記1のとおり

2 競争入札参加者に必要な資格

- (1) 地方自治法施行令第167条の4第1項又は財務規則第120条第1項の規定により入札に参加することができないとされた者でないこと。
- (2) 契約の履行にあたり、前号に掲げる者を代理人、支配人、その他の使用人又は入札代理人として使用する者でないこと。
- (3) 本県における一般競争入札又は指名競争入札参加資格者の資格審査において別記2の等級に格付けされた者であること。
- (4) 長野県総務部長から物品購入等入札参加資格者に係る入札参加停止措置要領（平成23年3月25日付け22管第285号）に基づく入札参加停止を受けている期間中でないこと。
- (5) 法令等の定めによる許認可等に基づいて営業を行う必要がある場合にあっては、その許認可等に基づく営業であることを証明した者であること。
- (6) 競争入札公告等において日本工業規格を指定した場合にあっては、当該規格の物を納入（貸付け）できることを証明した者であること。
- (7) 競争入札公告等において特定銘柄物品名又はこれと同等のものと特定した場合にあっては、これらの物品を納入（貸付け）できることを証明した者であること。
- (8) 競争入札公告等においてアフターサービス（メンテナンス）の体制が整備されていることとした場合にあっては、当該体制が整備されていることを証明した者であること。
- (9) 公正性かつ無差別性が確保されている場合を除き、本件調達の仕様の策定に直接関与していない者であること。
- (10) 長野県暴力団排除条例（平成23年長野県条例第21号）第2条第2号に規定する暴力団員又は同条例第6条第1項に規定する暴力団関係者でないこと。
- (11) 競争入札参加者又はその代理人は、上記事項のうち入札公告等に公告等された事項につき、書面によりこれを証明のうえ、10の(1)及び(2)により事前に提出すること。

3 入札及び開札

- (1) 競争入札参加者又はその代理人は、仕様書、別添契約書（案）及び本入札説明書を熟覧し、承諾の上で入札しなければならない。この場合において、当該仕様書等について疑義がある場合は、別記6に掲げる者に説明を求めることができる。ただし入札後仕様書等についての不知または不明を理由として異議を申し立てることはできない。
- (2) 競争入札参加者又はその代理人は、別紙様式による入札書を直接に又は郵便（書留郵便又は配達記録郵便に限る。）により提出しなければならない。電話、電報、ファックス、コピーその他の方法による入札は認めない。
- (3) 入札書及び入札にかかる文書に使用する言語は、日本語に限るものとし、また入札金額は、日本国通貨による表示に限るものとする。
- (4) 入札書の提出場所及び受領期限は、別記3の(1)又は(2)のとおり
- (5) 入札参加者又はその代理人は、次の各号に掲げる事項を記載した別紙様式による入札書を提出しなければならない。
 - ア 供給物品名
 - イ 入札金額

- ウ 入札参加者本人の住所、氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び競争入札参加資格審査申請書又は委任状へ押印した印鑑の押印（外国人の署名を含む。以下同じ。）
- エ 代理人が入札する場合は、入札参加者本人の住所、氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印
- (6) 入札書は、直接に提出する場合は封書に入れ密封し、かつその封皮に氏名（法人の場合は、その名称又は商号）及び「10月18日開札 県立長野図書館コンピュータシステムの賃借の入札書在中」と朱書きし、郵便により提出する場合は二重封筒とし、入札書を中封筒に入れて密封の上、当該中封筒の封皮には直接に提出する場合と同様に氏名等を朱書きし、外封筒の封皮には「10月18日開札 県立長野図書館コンピュータシステムの賃借の入札書在中」と朱書きしなければならない。
- (7) 入札参加者又はその代理人は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分に押印しておかなければならない。
- (8) 入札参加者又はその代理人は、その提出した入札書の引換え、変更又は取消しをすることができない。
- (9) 入札参加者又はその代理人は、入札書を提出するときは、入札公告等において求められた義務を履行するために必要とする関係書類を併せて提出しなければならない。
- (10) 入札参加者又はその代理人が協定し、又は不穩の行動をなす等により競争入札が公正に執行することができないと認められるときは、当該入札を延期し、又はこれを廃止することがある。
- (11) 入札参加者又はその代理人の入札金額は、調達物品の本体価格のほか、輸送費、保険料、関税等納入場所渡しに要する一切の諸経費を含め入札金額を見積もるものとする。
なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、競争参加者又はその代理人は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (12) 入札参加者又はその代理人は物品代金の、支払回数等の契約条件を別添契約書（案）に基づき十分考慮して入札金額を見積もるものとする。
- (13) 仕様書において同等以上のものと特定した場合において、入札参加者又はその代理人が同等のものを供給することとして申し出たときは、入札参加者又はその代理人から提出された資料等に基づき開札日の前日までに同等物品であると判断した場合にのみ当該者の入札書を落札決定の対象とする。
- (14) 入札公告等により競争入札参加資格審査申請書（以下「審査申請書」という。）を提出した者が、開札時に競争に参加する者に必要な資格を有すると認められることを条件にあらかじめ入札書を提出した場合において、当該者にかかる資格審査が開札日時までに終了しないとき又は資格を有すると認められなかったときは、当該入札書は落札決定の対象としない。
- (15) 開札の日時及び開札の場所は、別記3の(1)のとおり
- (16) 開札は、入札参加者又はその代理人が出席して行うものとする。この場合において、入札参加者又はその代理人が立ち会わないときは、入札執行事務に関係のない職員を立ち会わせてこれを行う。
- (17) 入札場所には、入札参加者又はその代理人並びに入札執行事務に関係のある職員（以下「入札関係職員」という。）及び(16)の立会い職員以外の者は入場することができない。
- (18) 入札参加者又はその代理人は、開札時刻後においては、入札場所に入場することができない。
- (19) 入札参加者又はその代理人は、入札場所に入場しようとするときは入札関係職員に競争入札参加資格確認通知書（以下「確認通知書」という。）及び身分証明書を提示し又はその写しを提出し、当該代理人は入札権限に関する委任状を提出しなければならない。入札参加者又はその代理人が開札に立ち会わない場合においては、確認通知書の写し及び委任状を入札書と同時に提出しなければならない。
- (20) 入札参加者又はその代理人は、特にやむを得ない事情があると認められる場合のほか、入札場所を退場することはできない。
- (21) 入札場所において次の各号の一に該当する者は当該入札場所から退去させる。

- ア 公正な競争の執行を妨げ、又は妨げようとした者
 - イ 公正な価格を害し、又は不正の利益を得るための協定をした者
- (22) 入札参加者又はその代理人は、本件調達に係る入札について他の入札参加者の代理人となることができない。
- (23) 開札をした場合において、入札参加者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないときは、再度の入札をする。この場合において、開札に立ち会うことができない入札参加者は、再度以降の入札を辞退したものとみなす。ただし、入札参加者がひとりも開札に立ち会っていない場合には、別に定める日時において入札をする。なお、入札回数は、3回を限度とする。第3回目の入札を行っても落札者がいない場合は、第3回目の最低入札者と政令第167条の2第1項第6号の規程による随意契約とする。この場合の見積回数は3回を限度とする。

4 入札保証金

- (1) 入札参加者又はその代理人は、入札公告等において入札保証金を納付すべきこととされた場合にあっては、入札書の提出期限までに入札保証金又は入札保証金に代わる担保を納付しなければならない。
- (2) (1) の入札保証金に代わる担保は、次表に掲げるものとする。この場合において担保として提供された証券が記名証券であるときは、売却承諾書及び委任状を添えるものとする。

区分	種 類	価 額
ア	国債又は地方債	債券金額
イ	特殊法人登記令（昭和39年政令第28号）第1項に規定する法人の発行する債券	額面金額又は登録金額（発行価額が額面金額又は登録金額と異なるときは、発行価額）の8割に相当する金額
ウ	金融機関の引受け、保証又は裏書のある手形	手形金額又は保証する金額（当該手形の満期の日が当該入札保証金を納付すべき日の翌日以後の日であるときは、当該入札保証金を納付すべき日の翌日から手形の満期の日までの期間に応じて当該手形金額を一般市場における手形の割引率により割り引いた金額又は当該割り引いた金額のうち保証する金額に及ぶ金額）
エ	金融機関の保証する小切手	金融機関の保証する金額
オ	金融機関の保証	金融機関の保証する金額

- (3) 入札参加者又はその代理人は、入札保証金を納付書に添えて、別記7に掲げる出納員又は現金取扱員に提出しなければならない。
- (4) 入札参加者又はその代理人は、入札保証金として納付する担保が(2) のアまたはイであるときは、証券を納付書に添付して別記7に掲げる出納員又は現金取扱員に提出しなければならない。
- (5) 入札参加者又はその代理人は、入札保証金として納付する担保が(2) のウであるときは、手形を納付書に添付するとともに、金融機関の保証が必要である手形の場合は、金融機関の保証書を添付して別記7に掲げる出納員又は現金取扱員に提出しなければならない。
- (6) 入札参加者又はその代理人は、入札保証金として納付する担保が(2) のエであるときは、小切手及び金融機関の保証書を添付して別記7に掲げる出納員又は現金取扱員に提出しなければならない。
- (7) 入札参加者又はその代理人は、入札保証金として納付する担保が(2) のオであるときは、当該保証書を添付して別記7に掲げる出納員又は現金取扱員に提出しな

ればならない。

- (8) 入札参加者又はその代理人は、保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結したときは、当該入札に係る保険証券を別記7に掲げる出納員又は現金取扱員に提出しなければならない。
- (9) 入札入札が完結し、契約の相手方が決定したときは、契約の相手方となるべき者以外の者が納付した入札保証金等は、速やかにこれを還付し、また、契約の相手方となるべき者が納付した入札保証金等は当該競争入札に係る契約書を取りかわした後これを還付するものとする。
- (10) 契約の相手方となるべきものが納付した入札保証金等は、その者が契約を結ばないときは、県に帰属するものとする。

5 無効の入札書

入札書で次の各号の一に該当するものは、これを無効とする。

- (1) 一般競争入札の場合において公告に示した競争に参加するものに必要な資格のない者の提出した入札書
- (2) 同一人が入札した2通以上の入札書
- (3) 入札人が協定して入札した入札書
- (4) 調達物品名及び入札金額のない入札書
- (5) 入札参加者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び押印のない又は判然としない入札書
- (6) 代理人が入札する場合は、入札参加者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印のない又は判然としない入札書
- (7) 調達物品名に重大な誤りのある入札書
- (8) 入札金額の記載が不明確な入札書
- (9) 入札金額の記載を訂正したものでその訂正について印の押してない入札書
- (10) 納付した入札保証金の額が入札金額の100分の5に達しない場合の当該入札書
- (11) 入札公告等において示した入札書の受領期限までに到達しなかった入札書
- (12) その他入札に関する条件に違反した入札書

6 落札者の決定

- (1) 有効な入札書を提出した者であって、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者を契約の相手方とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が二人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。
- (3) (2) の同価の入札をした者のうち、出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定するものとする。
- (4) 契約の相手方となるべき者の申込みに係る価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした他の者のうち最低の価格をもって申込みをした者を当該契約の相手方とすることがある。
- (5) 落札者を決定したときは、その日から起算して5日以内に、落札者を決定したこと、落札者の氏名及び住所並びに落札金額を、落札者とされなかった入札者に口答又は電話により通知するものとする。
- (6) 落札者が、指定の期日までに契約書の取りかわしをしないときは、落札の決定を取り消すものとする。

7 契約保証金

- (1) 契約の相手方は、入札公告等において契約保証金を納付すべきこととされた場合にあっては、指定の期日までに契約金額の100分の10以上の額の契約保証金又は契約保証金に代わる担保を所定の手続きに従い納付しなければならない。
- (2) (1) の契約保証金に代わる担保の種類及び価値は、4の(2)の入札保証金の定めを準用する。
- (3) 契約の相手方が納付した契約保証金等は、これを納付した者がその契約上の義務を履行しないときは、県に帰属するものとする。

- (4) 契約の相手方が納付した契約保証金等は、契約に基づく給付が完了したときその他契約保証金等を返還する事由が生じたときは、これを還付するものとする。

8 契約書の作成

- (1) 競争入札を執行し、契約の相手方が決定したときは、契約の相手方として決定した日から起算して5日以内（契約の相手方が遠隔地にある等特別の事情があるときは、指定の期日まで）に契約書の取り交わしをするものとする。
- (2) 契約書を作成する場合において、契約の相手方が隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名して押印し、さらに予算執行者が当該契約書の案の送付を受けてこれに記名して押印するものとする。
- (3) (2) の場合において予算執行者が記名して押印したときは、当該契約書の1通を契約の相手方に送付するものとする。
- (4) 契約書及び契約に係る文書に使用する言語並びに通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (5) 予算執行者が契約の相手方とともに契約書に記名して押印しなければ本契約は、確定しないものとする。

9 契約条項

別添契約書（案）のとおり

10 入札者に求められる義務

- (1) 入札参加者又はその代理人は、入札公告等において求められた経済上及び技術上の要件について、別記8で定める日までに入札参加者の負担において文書で完全な説明をしなければならない。
- (2) 入札参加者又はその代理人は、入札公告等において求められた調達物品に係る技術仕様、適合性の説明並びに必要な設計図・図案及び解説資料について、別記8で定める日までに入札参加者の負担において文書で完全な説明をしなければならない。

11 資格審査に関する事項

資格審査に関する事項の照会先並びに資格審査申請書の提出先

(郵便番号) 380-8570
(所在地) 長野市大字南長野字幅下692-2
(機関名) 長野県会計局契約・検査課
(電話番号) 026(235)7079

12 その他必要な事項

- (1) 予算執行者の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地は、別記4のとおり
- (2) 入札参加者若しくはその代理人又は契約の相手方が本件調達に関して要した費用については、すべて当該入札参加者若しくはその代理人又は当該契約の相手方が負担するものとする。
- (3) 入札説明会の日時及び場所は、別記5のとおり
- (4) 本件調達に関する照会先は、別記6のとおり

別 記

1 競争入札に付する事項

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 調達物品名 | 別記仕様書のとおり |
| (2) 調達物品の規格、品質、性能等 | 〃 |
| (3) 調達物品の条件等 | 〃 |
| (4) 借入数量 | 〃 |
| (5) 借入場所 | 〃 |
| (6) 借入期間 | 〃 |

令和2年3月1日から令和7年2月28日まで（地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の3に規定する長期継続契約）

2 入札参加者の必要な等級

一般競争入札又は指名競争入札に参加する者の資格（昭和59年長野県告示第60号）の別表の「その他の契約」の欄の等級区分がAに格付けされている者

3 入札及び開札

(1) 入札及び開札の日時及び場所

- | | |
|------|-------------------|
| ア 日時 | 令和元年10月18日（金）午後2時 |
| イ 場所 | 県立長野図書館3階会議室 |

(2) 郵送による場合の入札書の受領期限及び提出場所

- | | |
|------|--|
| ア 日時 | 令和元年10月11日（金）午後5時必着 |
| イ 場所 | 長野市若里1-1-4（郵便番号380-0928）
県立長野図書館総務課（「書留郵便又は配達記録郵便」とすること。） |

4 契約に関する事務を担当する部署の名称及び所在地

- | | |
|--------|------------|
| （担当部署） | 県立長野図書館総務課 |
| （郵便番号） | 380-0928 |
| （所在地） | 長野市若里1-1-4 |

5 入札説明会の日時及び場所

- | | |
|------|------------------|
| （日時） | 令和元年9月11日（水）午後2時 |
| （場所） | 県立長野図書館3階会議室 |

6 本件調達に関する照会先

- | | |
|--------|--------------|
| （郵便番号） | 380-0928 |
| （所在地） | 長野市若里1-1-4 |
| （機関名） | 県立長野図書館総務課 |
| （電話番号） | 026-228-4500 |

7 入札保証金等の提出先

- | | |
|--------|-------------------------|
| （郵便番号） | 380-0928 |
| （所在地） | 長野市若里1-1-4 |
| （担当部署） | 県立長野図書館総務課
出納員・中村 竜生 |

8 技術仕様書等の説明資料の提出期限及び場所

(1) 提出書類

- 納入予定物品一覧表（任意様式）
- 競争入札参加資格確認申請書（別紙様式）
- 実績申出書（別紙様式）
- システム開発実績証明書（別紙様式）
- 保守体制説明書（別紙様式）
- 誓約書（別紙様式）

(2) 提出期限

令和元年10月1日（火）午後5時

(3) 提出場所

県立長野図書館総務課